

高校 日语专业 8级

考试模拟试题集

大学日本語専攻
能力試験八級模擬問題集

主编 陈多友 宿久高 顾也力
中国对外翻译出版公司

H369.6
519

高校 日语专业 8级 考试模拟试题集

大学日本語専攻
能力試験八級模擬問題集

主编 陈多友 宿久高 顾也力

中国对外翻译出版公司

图书在版编目(CIP)数据

高校日语专业8级考试模拟试题集/陈多友, 宿久高, 顾也力主编. —北京: 中国对外翻译出版公司, 2003.8
ISBN 7-5001-1136-3

I. 高... II. ①陈... ②宿... ③顾... III. 日语—高等学校—水平考试—习题 IV. H369.6

中国版本图书馆CIP数据核字(2003)第037707号

高校 日语专业

8 级

考试模拟试题集

大学日本語専攻
能力試験八級模擬問題集

总 策 划: 林德 陈多友

主 编: 陈多友 宿久高 顾也力

副 主 编: 丁国旗

编撰人员: 丁国旗 岸田修次 陈多友 刘金举 张爱

徐蕾 伍毅敏 宿久高 顾也力 忽海燕

录 音: 安藤美保 小池康司

责任编辑: 吴少玲

装帧设计: 广州市天富恒广告有限公司

出 版: 中国对外翻译出版公司

地 址: 北京市西城区车公庄大街甲4号

邮 编: 100044

印 刷: 广东省肇庆庆建印刷有限公司

地 址: 肇庆星湖大道

850 × 1168毫米 大32开 8.3125印张 185.405千字

2003年8月第1版 2003年8月第1次印刷

印 数: 1-5000册

书 号: ISBN 7-5001-1136-3/H·358

定 价: 20.00元(含磁带 32.00元)

版权所有, 翻印必究

序 言

迄今为止我国面向高等院校日语专业的国家级日语水平统一考试都是以“国际日语能力试验”的形式代行的。将近20年的实践证明这种做法对考察我国高校日语专业学生日语水平,促进日语教育和研究都起到了相当好的作用。但是与此同时也暴露出了一些问题:例如,“国际日语能力试验”只侧重“听”、“读”方面的测试,而对“说”、“写”、“译”三大要素有偏废之嫌;而且它只重视客观考察,而缺乏主观面的测试、评估;文字、词汇方面的测试占据相当大的比重,对处于汉字圈文化中心的我国学生有偏易之嫌,如此等等都不利于衡量我国大学生的学习水平;不利于他们的实际发挥;难以如实反映我国高校日语教育的真实效果;甚至隐藏了为片面追求该项考试成绩而打乱了专业课程设置,直接影响到了学生综合实力的培养,引起了诸多矛盾及问题。事实上,日本国内有关方面也已注意到了这些确实存在着的矛盾和问题,并已经着手改革国际日语水平考试的方法。目前日方拟推广的做法是拓宽测试范围,加强语学之外的文化面的关怀度。由此我国的日语教育界也获得了一些启示。近年国家教育部结合我国日语教育的现状及时调整了日语教育的方针,制定了《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》和《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》。《大纲》明确地规定了高等院校日语专业的教学任务和目的,强调了“听、说、读、写、译”五大要素的均衡发展以及学生实际运用能力、社会文化理解能力等方面的培养。可见我国的日语教育正经历着一次重大变革。由此我国的日语水平测试方法也作了相应的调整,出台了《日语专业四级八级水平考试》的做法。这项措施为我们更新日语教育提供了先决条件。

然而,由于如此教改活动刚刚起步,各相关高校及教学机构对之尚缺乏具体、直观的了解;准备复习迎考的学生们更是困惑不已。有鉴于此,我们根据前述《大纲》的有关规定,参照《大纲》中的样题,组织了一批有丰富教学科研经验的一线教师、科研人员(包括日籍人士)编写了这套模拟试题集。它分作《四级》和《八级》两册。每册内容编排、组织都立足实际演练、仿真训练;练习题都是围绕《大纲》所规定的范围展开,例题典型,学生们可以藉此举一反三、触类旁通,找到实际参加考试的感觉;相应的说明解释简练却不失精到;而且内容涵盖面广,针对性强,以之为

线索结合平常的有目的性的学习,反复自测、演练,可以在短时间内调整应试知识技能结构,收到事半功倍的良好效果。就各练习题我们都给出了参考答案或示范译文、例文;听解部分我们请日籍专家作了录音,并在书后附上了录音文字稿。另外为了便于读者熟悉答题方式,我们还附上了《四级》、《八级》考试答题卡样本。

本套模拟试题集,是面向高等院校日语专业学生编写的,也可作为专业教师组织《四级》、《八级》日语模拟考试或其他类型的专业考试的范题,也可供拟参加日语专业研究生考试或“国际日语能力试验”的读者们参考使用。由于时间仓促,疏漏之处在所难免,敬请各位专家同行指教。

编 者

2002年09月

《日语专业八级考试大纲》

总 则

国家教育部《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》(以下简称《大纲》)于2000年3月正式颁布执行。《大纲》规定,高等院校日语专业高年级阶段的教学任务是“继续锤炼语言基本功,提高日语实践能力,充实文化知识,进一步扩大知识面。要改革教学方法,激发学生的学习热情,培养学生的学术兴趣和创新意识,提高学生独立分析问题、解决问题的能力。”

《大纲》的“测试与评估”一项规定:“测试是了解学生的日语水平、检查教学大纲的执行情况、改进教学的重要手段。测试本身必须具备科学性、可行性和可靠性。”同时还指出,“测试内容应包括大纲规定中要求学生掌握的语言运用技能、日语交际能力以及有关的日本语言、文学、文化知识等。”

根据《大纲》的上述规定,日语专业八级考试大纲规定了以下原则及考试内容。

一、考试目的

本考试的目的是检查《大纲》的执行情况,特别是大纲所规定的八级水平所要达到的综合语言技能和交际能力,以促进大纲的贯彻执行,并进一步提高教学水平。

二、考试的性质与范围

本考试是一种测试应试者单项和综合语言能力的尺度参考性水平考试。考试范围包括《大纲》所规定的听、读、写、译四个基本技能,说的技能待条件具备后再测试。

三、考试时间与命题

日语专业八级考试于每年3年举行。由教育部高等学校外语专业教学指导委员会日语组负责命题与实施。

四、考试形式

为了较好地考核学生运用语言技能的综合能力,既充分考虑科学性、客观性,又照顾其可行性及本考试的特点,本考试采取客观试题与主观试题相结合、单项技能测试与综合技能测试相结合的方法。从总体上来看,共设定200分的试题,客观试题120分,占60%,主观试题80分,占40%。客观试题与主观试题在各项试题中的分布详见“考试内容一览表”。

五、考试内容

1. 听力理解

1) 测试要求

- ①能听懂交际场合中各种日语对话和讲话。
- ②能听懂日语的有关政治、经济、文化、教育、科技方面的一般报道。
- ③能听懂一般题材的日语电视剧。

2) 题型及评分标准

共10道题,每题3分。对话题占70%,短篇占30%,全部为4选1。时间约20分钟,全部录音只播放一遍,只能边听边答题,放完录音后即刻交卷,没有检查或重做的时间。

2. 综合试题

这部分包括文字、词汇、语法、阅读理解、日本古典、文学等,是对学生综合语言理解和运用能力的检测。此项全部为判断选择题。第1题为文字,占10分;第2题为词汇,包括常用语、惯用语及谚语,占25分;第3题为语法,包括助词、助动词、语法功能词、句型及敬语等,占20分;第4题为日本文学和文学史,含古典与近代,占19分;第5题为长篇阅读理解文章,占16分。

这部分主要检测学生对词汇、语法的掌握运用能力、文章阅读理解能力以及对日本古典、文学知识掌握的情况。答题时间为100分钟。

3. 中译日

运用翻译理论与技巧,将我国报刊杂志上的论述文及一般文学作品译成日文。翻译速度每小时不低于270个汉字,要求译文准确,语言通顺。原文约270个汉字,答题时间为60分钟,分值40分。

4. 写作

要求学生按规定撰写一篇500字左右的文章。该作文必须符合要求,语言通顺,用词得体,格式正确,结构合理,生动感人,具有较强的说服力。答题时间为60分钟,分值40分。

六、答题与计分

本考试试卷共有三份。试卷一为听力部分;试卷二为综合部分;试卷三为翻译、写作部分。全部要求答在答题纸上,除翻译、写作部分外,都是选择题。要求学生从每题所给的A、B、C、D四个选择项中选出一个最佳答案,并按规定答题。做在试卷上的答案无效。每题只能选择一个答案,多选不得分。

翻译、写作部分要求考生用钢笔或圆珠笔写在答题纸上。主观题按统一规定的评分标准评分。

试卷各部分采用记权的办法,折合成百分制,以60分为及格标准。

试卷的题型、题数、计分、比重和考试时间列表如下:

卷别	序号	各部分名称	题型	题号	题数	计分	比重	考试时间(分钟)
试卷一	I	听力理解	对话、短篇	1~10	10	30	15%	20
	I	文字	假名、汉字	1~10	10	10		
试卷二	II	词汇	常用语	11~20	10	10		
			惯用语	21~30	10	10		
			谚语	31~35	5	5		
			常用语法表达形式 (含助词、助动词、 语法功能词等)	36~45	10	10		
	III	语法	句型与敬语	46~55	10	10	45%	100
	IV	文学	古典・近代文学	56~63	8	8		
				64~66	3	6		
			文学史知识	67~71	5	5		
	V	阅读理解	长篇	72~83	12	16		
试卷三	I	翻译	中译日		1	40		
	II	写作	常用文体写作		1	40	40%	120

注意事项

- 一、将自己的校名、姓名、学校代号、准考证号分别写在各答题纸上。考试结束后,把试题册和答题纸放在桌上。教师收卷后方可离开考场。试题册和答题纸均不得带走。
- 二、仔细阅读题目的说明。
- 三、考试分上下午进行。上午考听力和综合部分,下午考翻译和作文部分。必须在规定的时间内完成全部试题,不得拖延时间。
- 四、各题必须答在答题纸上,写在试题册上的答案一律作废。
- 五、多项选择题只能选一个答案,多选不得分。选定答案后,用**2B**铅笔在相应的字母的中部划一条横线。正确方法是:[A][B][C][D],使用其他符号不给分。划线要有一定的粗度,浓度要盖过原来的颜色。
- 六、如果要改动答案,必须先用橡皮擦净原来选定的答案,然后再按上面的规定重新答题。
- 七、翻译和作文用钢笔或圆珠笔书写。
- 八、考试时不得使用词典及其他工具书。

目 录

• 前言	1
• 日语专业八级考试大纲	3
• 日语专业八级考试模拟题 (第一回)	9
• 日语专业八级考试模拟题 (第二回)	23
• 日语专业八级考试模拟题 (第三回)	37
• 日语专业八级考试模拟题 (第四回)	53
• 日语专业八级考试模拟题 (第五回)	68
• 日语专业八级考试模拟题 (第六回)	83
• 日语专业八级考试模拟题 (第七回)	99
• 日语专业八级考试模拟题 (第八回)	114
• 日语专业八级考试模拟题 (第九回)	130
• 日语专业八级考试模拟题 (第十回)	145
附录 1	160
• 日语专业八级考试模拟题 (第一回 ~ 第十回) 参考答案	
附录 2	194
• 日语专业八级考试作文写作技巧	
附录 3	197
• 日语专业八级考试模拟题听力理解部分录音材料文字稿	
附录 4	240
• 日语专业八级考试样题 (样题、答案)	
附录 5	260
• 日语专业八级考试模拟题答案用纸 (样式)	

日语专业八级考试模拟题

第一回

【试卷一】

日本語専攻生八級能力模擬試験問題

(聴解問題)

聴解 (3 × 10 = 30 点)

(略)

【试卷二】

大学日本語専攻生八級能力模擬試験問題

(総合問題)

注 回答はすべて解答用紙に書くこと。

I

一、次の文の下線をつけた言葉は、どのようなものに当たるか、それぞれのA、B、C、Dから一つ選びなさい。(1 × 10 = 10 点)

1. レイギに外れる。

A. 令義

B. 令儀

C. 礼儀

D. 礼義

2. ヒカエメをとる。

A. 控え目

B. 拘え目

C. 控え目

D. 腔え目

3. 一文のネウチもない。

A. 値打ち

B. 根内

C. 音内

D. 価打ち

4. 賞賛にアタイする。

A. 当

B. 値

C. 代

D. 額

5. ワズラワシイ手続きをすませる。

A. 紛わしい

B. 患わしい

C. 悩しい

D. 煩わしい

6. 砕けた態度を取る
A. さげ B. くだ C. さけ D. くだ
7. お皿が割れて粉々になる。
A. ふんぶん B. ふんふん C. こなごな D. こなこな
8. 模索を繰り返して進む。
A. もさく B. もうしょう C. もしょう D. もうさく
9. 膨大な計画を立てる。
A. ぼだい B. ぼうだい C. ぼうたい D. ぼたい
10. 領土を巡る紛争が起こった。
A. めぐ B. まわ C. めく D. じゅん

II

二、次の文の()に入る言葉はどれか。それぞれA、B、C、Dの中から一番いいものを一つ選んで入れなさい。(1 × 10 = 10 点)

11. それは学生()者のすべきことではありません。
A. になる B. たる C. である D. なる
12. 人に迷惑を(), その話は誰にもしていません。
A. かけるべく B. かけようと
C. かけまいと D. かけずに
13. 私の知っている()において、彼があんなことをするはずがありません。
A. こと B. ところ C. 限り D. のみ
14. 私()もっと懸命に勉強していれば、両親に失望させなかったのに。
A. こそ B. のみ C. だけ D. さえ
15. 彼は()変な人ですね、いつもわけも分らないことをしています。
A. どうか B. なんだか C. なんなり D. どうやら
16. 家を出るか出ないかの(), 電話が入ってきました。
A. ときに B. とたんに C. 間に D. うちに
17. お忙しいところ、恐れ入りますが、今回の忘年会にご参加くださいますように()よろしくお願いいたします。
A. なるたけ B. なにとぞ C. ひいては D. ひたすら
18. 彼女は重病の赤ちゃんを、つき()で看病しています。
A. ながら B. つきり C. っぱなし D. だけ

19. こんなにトラブルが生じては、() このプロジェクトを止めた方がましだと思います。
- A. いっそ B. ずばり C. ちゃんと D. きちっと
20. 自分のことだけ考える利己的な人とは、最初から友になる () ではありません。
- A. こと B. わけ C. べき D. はず

三、次の言葉の解釈にふさわしいものをA、B、C、Dの中から一つ選びなさい。
(1 × 10 = 10 点)

21. 足が出る
- A. お金が残ってくること B. お金が足りなくなること
C. お金を貸してもらうこと D. お金を借りてあげること
22. 目と鼻の間
- A. かなり狭いこと B. かなり広いこと
C. 非常に近いこと D. 非常に大切なこと
23. 気を貸す
- A. 降参すること B. 感心すること
C. 同情すること D. 援助すること
24. 頭を抱える
- A. 思い出すこと B. 惜しむこと
C. 悩ますこと D. 心配すること
25. 骨惜しみ
- A. 全力ですること B. 苦勞を惜しまないこと
C. 色々工夫すること D. 苦勞を嫌がって怠けること
26. 口が過ぎる
- A. 食べたいものが多すぎる B. 食料が多すぎる
C. 失礼なことを言うこと D. あまりしゃべらないこと
27. 腕を振るう
- A. 自分の腕前を自慢すること B. 自分の腕前を発揮すること
C. 腕前が優れていること D. 人の腕前を馬鹿にすること
28. 手を結ぶ
- A. 仲良くすること B. 賛成すること
C. 関係しないこと D. 手伝ってあげないこと

29. 気が沈む

- A. 具合が悪くなること B. 不快に落ち込むこと
C. 考えが変わること D. 注意深くなること

30. 涙をのむ

- A. 心強いこと B. 辛抱強いこと
C. 懐かしさを我慢すること D. 悔しさやつらさを我慢すること

四、次の諺の解釈に、最も適当だと思う諺を A、B、C、D の中から一つ選びなさい。(1 × 5 = 5 点)

31. 「度胸があつて、少しのことでは驚いたり、慌てたりしない」というのはどれですか。

- A. 腰が強い B. 気にさわる
C. 肝がすわる D. 気骨が折れる

32. 「相手にわざと勝たせたり、手柄を譲ったりする」というのはどれですか。

- A. そろばんをはじく
B. 花を持たす
C. 底を突く
D. 備えあればうれいなし

33. 「人と人とがちょっと知り合ったり、関わりを持ったりするのも、その人が生まれてくる前からのめぐりあわせによるものだ」というのはどれですか。

- A. 過ぎたるはなお及ばざるがごとし
B. 渡りに船
C. 笑う門には福来たる
D. 袖振り合うも他生の縁

34. 「望みや見込みがある」というのはどれですか。

- A. 抜け目がない B. 脈がある
C. 名を残す D. 途方に暮れる

35. 「人は、死んだ後も、立派な人だったと言われるように、いつも心がけなさい」という教えの言葉はどれですか。

- A. 虎は死して皮をとどめ、人は死して名を残す
B. 長い目で見る
C. 機先を制する
D. 我に返る

III

五、次の各文の内容を最もよく表わしているものを A、B、C、D から一つ選びなさい。(1 × 10 = 10 点)

36. 人生は気の持ちようで、楽しくもなれば悲しくもなる。巨万の富を持っていたても、猶欲しい人はあくせくするだろうし、大邸宅に住んでいても「欧米の金持ちに比べたら」と愚痴る人もいるだろう。
- A. 同じ物事に対しても、人によって気持ちがそれぞれ違う。
B. 巨万の富を持っている人は必ずあくせくする。
C. 富が欧米の金持ちに及ばない金持ちは、よく愚痴る人である。
D. 気持ちによってお金が少なくなったり多くなったりする。
37. 現在では、人々の生活が多様化している。色々な趣味、遊びなどに幅広く手を出すほど、それに伴う「モノ」も増えてくる。現代では、何か新しいことを始めようとする時、そのための道具がまず必要になるのだ。
- A. 何か新しいことを始めようとする時は、まず自分の趣味を広くしなければならぬ。
B. 趣味や遊びに使う道具が多くなったので、人々の生活は多様化している。
C. 生活が多様化している現代では、「モノ」を増やすために、自分の趣味などを広くしなければならない。
D. 趣味が広くなるにつれて、それに使われる道具も多くなってくる。
38. 我々人間には、もう甘くもなんとも感じない程度の薄さにした液を、更に数十倍に薄めても、なお、魚には、甘いということが分かってきました。また、塩辛いという味の場合は、甘い味の四、五倍の鋭さという数が出ていますから、たいしたものですね。
- A. 人間が甘く感じないものには、魚も甘く感じない。
B. 魚が甘く感じないものには、人間は必ずしも甘く感じないのではない。
C. 魚は甘い味に対する感覚が塩辛い味に対する感覚ほど鋭くない。
D. 魚は塩辛い味に対する感覚が甘い味に対する感覚より鈍い。
39. 中学校のころから、一人の作家或いは思想家に出会ったら、その人の作品を初期のものから晩年のものまで、一々読んでしまうということをずっと続けていた。それは、一人の作家、思想家の思想やテーマに触れることのみならず、その生き方にまで触れようと思うからである。
- A. 作家或いは思想家は中学校のころからその作品を綴りつづけるのである。
B. 筆者は中学校のころから晩年まで、一人の作家の作品を残らず読んでしまった。

- C. 筆者は作家或いは思想家に会いたがるので、その作品を読みつづける。
 D. 作家或いは思想家の作品を読みつづけるのは、その思想や生き方に触れたいのにほかならない。
40. 洪水、津波など、自然のはたらきで荒廃することもあります。近年では、人間の文明によって、自然が荒廃することが多くなりました。農地、植林地なども、人間の手で自然の姿を変えたものですが、これを自然荒廃とはいいません。それはこのような自然へのはたらきかけが、自然の仕組みにかなった形で行われているからです。
- A. 自然の荒廃は人間がもたらした災害である。
 B. 人間が自然の仕組みを乱しているだけである。
 C. 自然荒廃の原因は、自然のはたらきにも人間のはたらきにもある。
 D. 農地や植林地が自然の仕組みを破壊した。
41. 動物園に行きたいが病気で行くことのできない少年がいます。その目の前に動物園の立体映像がうつります。少年がレバーを動かすと、映像が動き、切符売り場を通り、中に入ります。猿や象のいるところに近づくと、その鳴き声が聞こえてきます。
- A. レバーを動かすと、切符売り場で切符を買うことができます。
 B. 立体映像を通して、病気の少年に動物園の動物を見せたり動物の鳴声を聞かせたりする。
 C. レバーを動かすことによって、病気の少年を動物園まで送る。
 D. 病気の少年に行きたがる動物園の映像を撮影させる。
42. 子供も、もちろん大切ですが、夫婦の暮らしはそれ以上に大切だというわけで、子供に手が回りかねるのです。かくて、親達は夫婦本位の世界に、子供は子供の世界にそれぞれ分かれてしまいます。
- A. 親と子供は別々に住んでいる。
 B. 親は子供の面倒をぜんぜん見ない。
 C. 親は子供を大切にしていない。
 D. 子供も夫婦の暮らしも大切である。
43. 確かに人間が、体の時間で生きるほうがいいです。そう思っても、現実には、ストレスの生じるコンピューターや高速鉄道を使わざるを得ません。せいぜいできることは、自分が無理をしていることを悟って、ストレスを減らす方法を考えることでしょうか。
- A. 人間がストレスを減らすために、高速鉄道などを使っている。
 B. コンピューターなどを使わなければならないとは言え、できるだけストレスを解消しようとすべきである。